

～「さねさし」とは、相模の枕詞です～

津久井地域で初開催！

第31回相模原市 民俗芸能大会

今回、津久井中央公民館（旧津久井文化福祉会館）の民俗芸能大会にボランティアの一人として参加いたしました。会場の公民館は、私の地元で、時おり利用しておりますし、演目の内容や舞台設置等もほぼ前回同様とのことでありましたので、主に舞台裏のお手伝いをさせていただきました。

例年よりやや大きい会場でしたが、多くの来場者と出演された各保存会の皆さんの熱演もあって大盛況でした。特に地元中野の“^{かみちょう}上町囃子連”の童子を交えた賑やかなお囃子と踊りには会場も大盛り上がりでした。初めての会場での開催とあって、オープニング前のリハーサル段階では出演の皆さんや運営職員の方々が、大変ご苦労をされておりましたが、本番に入ってから、司会の鈴木さん（文化財調査・普及員 津久井班）のスムーズな進行によって、定刻通り全ての演目が無事終了しました。

津久井地域で初めて開催されたこの大会によ



番田神代神楽

目 次

- ① 津久井地域で初開催！民俗芸能大会
- ② 中津飛行場施設跡を訪ねて
・文化財調査・普及員としての1年
- ③ 原当麻のホトケドジョウ
・コラム 古民家園と田名向原実行委員会
- ④ 文化財マップ紹介～上鶴間鎌倉道を歩く～
・文化財保護課からのお知らせ



上町囃子連

って、時代を超えて伝承されている数々の相模原市の民俗芸能について、この地域の皆さんの関心と理解がより深められたのではないかと思います。来場されたお一人から感想をいただきましたので、その一部を紹介します。

「市の文化財保存・普及がこの様な形で行われていることを初めて知りました。大変意義のある素晴らしいことと思います。古くからの歴史のある旧津久井4町（城山、津久井、相模湖、藤野）にも後世に絶やす事なく受け継いで欲しい有形・無形文化財がたくさんあると思います。これからも津久井地域での文化財調査・普及活動や調査・普及員のことを皆さんにいろいろな方法でアピールして下さい」（緑区中野、TTさん）。

（津久井班 川嶋）

中津飛行場施設跡を訪ねて

愛川町にある中津飛行場施設跡を北部班9名と津久井班1名で訪ねました。

相模陸軍飛行場は通称「中津飛行場」と呼ばれ、昭和16年熊谷陸軍飛行学校相模分教所として開校、昭和19年7月に閉鎖されました。飛行場用地は戦後すぐに開墾され、昭和41年には内陸工業団地とし造成・完成しました。内陸工業団地の敷地は中津飛行場の範囲にほぼ相当しています。

愛川町文化財報告書によると、敷地内にはおよそ65の施設（排水路は場外にあり除外）があったとされていますが、遺跡として残る飛行場関係施設は6箇所です。「正門門柱」のみがかつての場所から移設されています。現在も使用されているのは県道相模原大磯線上に架かる「排水路橋」と建設会社の資材置き場となっている「通信室」です。「格納庫基礎」と「通用門」は民家の庭にあります。「弾薬庫」は報告書では3棟確認されていましたが、現在は1棟のみで改装されていて確認も難しい

状態です。

戦中の建築物も開発で次々と姿を消していて、記録も乏しく、当時を知る人も少なくなり、文化財に登録されていない建築物保護の難しさをあらためて思い知らされました。



参考資料：愛川町文化財報告書第22集

「愛川町の近代遺産」（平成13年発行）
（北部班 中里）

文化財調査・普及員としての1年

調査・普及員の仲間に入れていただいて1年あまりになります。主に普及の観点から、感じたことを述べてみます。

【田名向原遺跡の見学者を増やしたい】

- ガイドへの対応の中で、見学者が多くなる方策がないかと考えています。例として、
- ・愛好家対象に「田名向原遺跡友の会」の活動
 - ・全中高生を対象に「一度は見学しよう」運動
 - ・高齢者グループ対象に「知らないと損」運動
 - ・事業者の社員対象に「市の魅力向上」運動

【史跡巡り等の機会を増やしたい】

多様なコースを設定して、多くの市民に参加を呼びかけることを市民は期待していると思います。市内に点在する多様な文化財を適当な歩行距離（数km）内に配置するコース設定とガイド体制の検討を進めたら如何でしょう。

【相模原の大地の驚異を知って欲しい】

相模原市の地盤は、他にはない貴重な地学的な特質を持つ地層・地質からなっています。これらは、市民に是非知って欲しい



後世に伝えたい地学的遺産です。これらを文化財保護・普及の観点からの活動として取り組んだらどうかと思います。相模川の段丘崖等に見られる数多くの模式的現場の中から観察に適した地点を調査・選定して解説パネルを設置することなどがまず考えられます。

【今後の普及活動を強化していくために】

以上の普及活動を進めるためには、行政とともに活動する体制の充実が必要です。将来的には、調査・普及員が所属する市民グループと行政が互いに主体性を持って協働事業を行う体制が期待されます。（4期生 茅野）

原当麻のホトケドジョウ（オバク）

春先、水が温むと真っ先に小さな子どもであった私は、小川へ魚取りに行きました。場所は、今は消えてしまった原当麻の城山の崖下、八瀬川の流域です。そこには、湧水が八瀬川に流れ込む川幅 30～40cm ほどの短い流れがあります。流れは割と早いものの水深はくるぶしの上あたりで、幼児にもまったく安全で魚取りにはもってこいの場所です。

小川は護岸されるように明治時代、横浜港経由で広まった「イジンゼリ」と呼んでいたクレソンで覆われています。そのイジンゼリをまくり上げ、ようやく母から貸してもらった一番小型の子どもの帽子ほどの「テッポコザル」ですくい上げます。たまに小ブナやドジョウが取れますが、ざるの中に一番入るのは「オバク」と呼んでいたホトケドジョウでした。

戦後、物資不足の時代には米軍払い下げの缶詰の空き缶として貴重なもの、取れた魚を入れ、ぶら下げて帰ります。帰り道は浅間坂や廃道せんげんざかとなってしまう大作道おおさくみちですが、遠くない家にとどりつく頃、オバクはひっくり返って浮かんで

しまいます。家に着くと、仕方なくオバクを取り出してニワトリにやるのでした。



子どもが大きくなるにつれ、幼児対象の小川や小魚オバクは忘れられていきます。後年、私はオバクが絶滅危惧種であることを知り、大切なものであるのだなあと思いました。今やオバクはふるさと度の指標になっています。各地の湧水からのオバク復活を私は願っています。

*昨秋、道保川公園でイジンゼリの川の流れを見つけ、確かにホトケドジョウがいると思い事務所に尋ねると、湧水を入れた水槽で飼っていることを聞きました。

(南部班 中島)

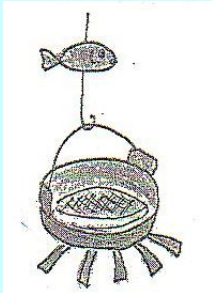
コラム

文化財調査・普及員有志の実行委員会が支える

古民家園保存・普及事業と田名向原遺跡案内・普及事業

毎月第4日曜は古民家園へ！

古民家園は相模川自然の村公園内にあり、約300年前の旧青柳寺庫裡を移築・復原し、公開しています。文化財調査・普及員の北部班と民俗班の有志で結成された古民家園保存・普及事業実行委員会では、月3回のいろりへ火入れと毎月第4日曜に昔あそびなど楽しい普及事業を行っています。



古民家園で楽しいひと時を過ごしては…

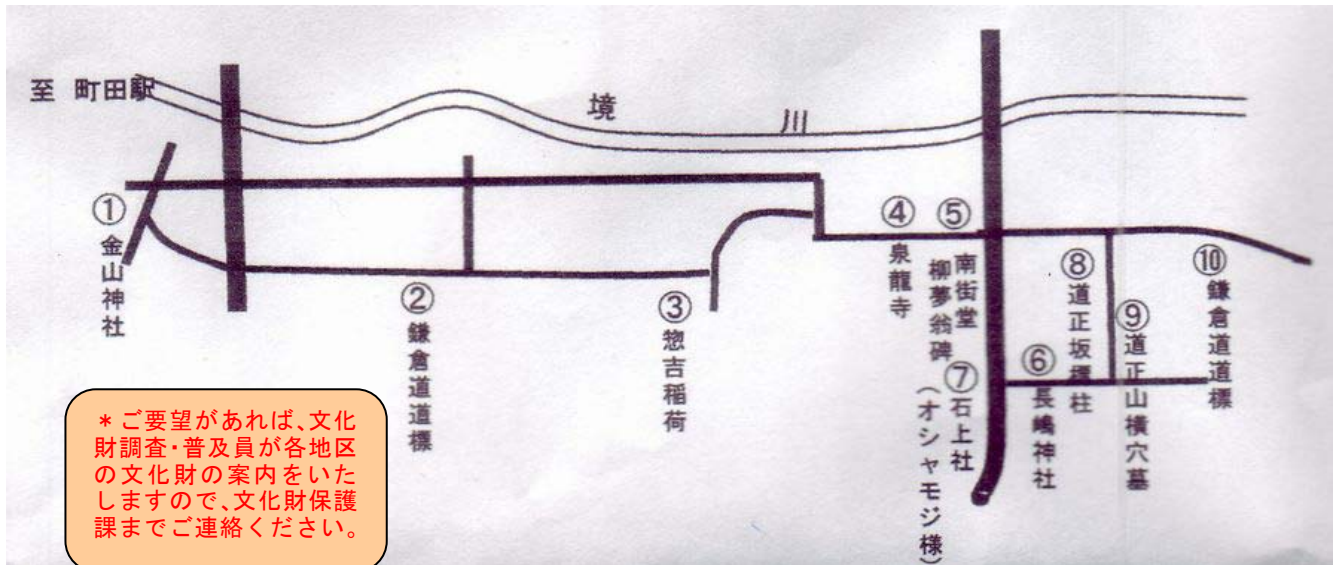
田名向原遺跡をご案内します！

田名向原遺跡は約2万年前の建物跡が発見された国指定史跡で、整備した遺跡公園と旧石器ハテナ館では旧石器～古墳時代を学ぶことができます。



文化財調査・普及員の西部、南部、考古班他の有志で結成された遺跡案内・普及実行委員会では、毎月1～4日曜に案内ガイドを行っています。田名向原で太古のロマンを感じては…

上鶴間の鎌倉道を歩く



* ご要望があれば、文化財調査・普及員が各地区の文化財の案内をいたしますので、文化財保護課までご連絡ください。

今回は鎌倉道を歩くコースです。鎌倉道は各地から鎌倉へ向かう中世・近世の古道の総称です。その代表的なものに「上の道」、「中の道」、「下の道」の三本の鎌倉道があります。この道の他にも多くの枝道や間道が網の目の様にありました。しかし、今は鎌倉道と言われる道も都市化などによって、その殆んどが分からなくなっています。

市内には途中不明確な所もありますが、淵野辺から上鶴間へ続く道が残っています。特に上鶴間の中和田には、境川沿いの段丘崖下に沿って一筋の道として残っています。

地図①金山神社から惣吉稲荷への道は、昭和の終わり頃迄は道幅も2m程の車も通れない土の狭い道で、右に崖、左に水田のある長閑な風情を残していました。

コースにある主な見所を紹介します。

③惣吉稲荷…地域の歴史や伝承を知る上で貴重な地頭大岡義成夫妻の墓碑や双

碑の板碑があります。

④泉龍寺…北条高時の持仏と言われる釈迦三尊や旧市域最古の墓石があります。

⑤南街堂柳夢翁頌徳碑…俳人であり中村新開を開拓した古木清左衛門の経歴と俳句が書かれています。

⑥長嶋神社…中和田の氏神様で、旧市域最古の明暦3年(1657)の棟札があります。(非公開)

⑦石上社…オシャモジ様とも言われ、『新編相模国風土記稿』にも記載のある古い祠。

⑨道正山横穴墓…古墳時代の横穴墓で見ることにはできませんが、説明板が設置されています。

ゆっくり歩いても2時間程の見所いっぱいのコースです。良い季節になりましたので、古に思いを馳せながら散策してみても如何でしょうか。 <東南班 安岡>

文化財保護課からのお知らせ

地元有志の実行委員会により大島中ノ郷・水場の両ヤツボ周辺が整備されました！

段丘崖から湧き出る水を溜め、生活用水として使用したヤツボのうち、市登録史跡の大島中ノ郷と同水場のヤツボが、地元有志ぐるっと大島&ヤツボ探訪実行委員会により整備され、案内板、手すり等が設置されました。以前より見学しやすくなりましたので、ぜひ探訪してはいかがでしょうか。

* 文化財調査・普及員の活動や通信紙「さねさし」のバックナンバーは次の手順で閲覧できます。

相模原市ホームページ → 観光・文化 (一覧を表示) → 文化財・史跡 → 文化財調査・普及員

発行連絡先 相模原市教育委員会 文化財保護課 電話 042-769-8371

大島水場のヤツボ

